



2005年7月14日

各 位

上場会社名 中外製薬株式会社
コード番号 4519 (東証 第一部)
本社所在地 東京都中央区京橋2-1-9
代 表 者 代表取締役社長 永山 治
問い合わせ先 責任者役職名 財務経理部長
氏 名 板谷 嘉夫
電 話 番 号 03(3281)6611

平成17年12月期中間決算速報のお知らせ

当社の親会社ロシュ・ファームホールディング・ビー・ヴィを含むロシュグループは、平成17年7月20日(スイス時間)に国際会計基準に基づく平成17年12月期の中間決算発表を行い、その中で当社中間決算情報の一部が開示されます。当社といたしましては、株主をはじめ投資家の皆様に対して適時・適切な情報開示を積極的に行う一環として、親会社の発表に先立ち、当社平成17年12月期(平成17年1月1日～平成17年12月31日)の中間決算速報を下記の通り発表することにいたしました。

なお、中間決算発表は平成17年8月4日を予定しております。

記

1. 平成17年6月中間期決算速報(連結)

(単位:億円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
平成17年6月中間期	1,592	399	427	280
平成16年6月中間期	1,420	223	236	138
増減額	172	175	190	142
増減率	12.1%	78.7%	80.8%	102.7%

売上高につきましては、本年2,3月におけるインフルエンザの大規模な流行のため、抗インフルエンザウイルス剤「タミフル」が前年を大幅に上回る売上げとなりました。また、主力製品であります遺伝子組換えヒトエリスロポエチン製剤「エポジン」をはじめ既存品が堅調に推移しました。さらに、平成16年5月に上市をした閉経後骨粗鬆症治療剤「エビスタ」の市場での認知度が高まり売上に寄与しました。

利益面につきましては、売上の伸長による売上総利益の向上に加え、引き続き経費の効率化に努めた結果、営業利益ならびに経常利益が増加しました。また、中間純利益につきましては、遊休資産の減損損失および事業所閉鎖関連費用が発生したものの、当社開発品である「MRA」のロシュ社との共同開発に伴うマイルストーン収入、旧鏡石工場等の譲渡益および旧松永工場跡地の売却益を計上したことにより、増加しました。

2. 平成 17 年 6 月中間期決算速報（単体）

（単位：億円）

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
平成 17 年 6 月中間期	1,531	366	401	273
平成 16 年 6 月中間期	1,378	202	220	132
増減額	152	164	180	140
増減率	11.1%	81.0%	81.5%	106.1%

3. 主要製商品別売上高（連結）

（単位：億円）

品名	平成 17 年 6 月中間期	平成 16 年 6 月中間期
エボジン	332	320
タミフル	232	72
ノイトロジン	149	130
シグマート	91	85
リツキサン	81	74
アルファロール	76	76
カイトリル	55	50
ハーセプチン	49	41
フルツロン	47	60
ペガシス	37	23
スベニール	37	32
エビスタ	36	15
リスモダン	35	36
オキサロール	34	31
ロセフィン	26	22
オイグルコン	24	26
レナジェル	21	16
ゼローダ	12	9